

記憶力向上に役立つペンの特徴

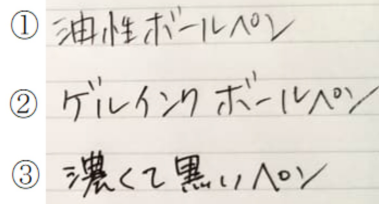
デジタル化が進む中、手書きの良さが見直されています。手書きは脳に刺激を与え、血流がよくなるそうです。

三菱鉛筆(株)は、立命館大学総合心理学部の服部雅史教授監修のもと、濃さの違うボールペンを用いて、高校生に手書き文字の「記憶再生課題」

を行なってもらいました。

- ①油性インク（0.7mm）
  - ②一般的なゲルインク（0.5mm）
  - ③濃くて黒いインク（0.5mm）
- 結果は濃くて黒いインクのボールペンで書いた文字は、正答率（正しい答えを出している人の割合）が高く、単語再生率（思い出しやすさ）が高いという結果が出たそうです。

より濃くて黒いボールペンが、記憶に残りやすいんですね。



ノンアルコールビール、酔えないのに気分が良くなる？

先日、久しぶりにノンアルコールビールを飲んだのですが、普通のビールと変わらないのではと感じ、その進化に驚きました。

マネーポストWEBが9月に『ノンアルコールビール愛好家たちがハマる“沼”』という記事を配信しました。お酒ではないノンアルコールビールだが、喉越しはいいし、なんだかほろ酔いのように気持ち良くなる気もする。これはただの思い込みなのかという

疑問から始まり、お酒による酔いとは違うが、ノンアルコールビールでもお酒で酔った時のような気分の良さを感じることはできるという結論に至っています。

食べ物や飲み物で、人の気分や自律神経の活動がどう変化するかを研究されている龍谷大学の山崎英恵（はなえ）教授が、過去に酒造会社と共同でノンアルコール飲料が人の気分や自律神経にどのような影響を及ぼすかの実験を行いました。20人前後の男女に、実験前にテスト問題を解

かせ「疲れた状態」にさせ、そのあとにノンアルコール飲料を飲んでもらった結果、被験者はお酒を飲んだ時と同じように、ノンアルコール飲料を飲んだ後、気分が良かったなどと前向きな回答をしたそうです。

何故そうなるのかは定かではありませんが、要因としてホップ由来の香気成分であるリナロールが副交感神経を活性化させると同時に、リラックスしたり、気分をよくする一定の効果があると考えられるとのことです。

ヨシナカ新聞

12月号

発行所  
(株)北陸ヨシナカ  
東京営業所  
TEL:03-3555-0796

お好み焼きのイメージ

「オタフクソース」（広島市西区）が、お好み焼きにどのようなイメージを頂いているかを東京都、大阪府、広島県の人たちにアンケート調査し、その結果を公表しています。

先ずはお好み焼はどこを食べもの？という質問に大阪、広島ともに「お好み焼は私の街の食文化」と両者譲らず、東京でも約半数は関西と広島のお好み焼の違いを説明可能なのだそうです。



3都市ともに、お好み焼はおいしく、食べる場所や、一緒に食べる人などを思い浮かべる

メニューであり、広島では「野菜をたくさんとれる」「栄養バランスがよい」など、栄養面の特長もイメージしていました。

また、「お好み焼きといえど？」という問いかけには、大阪は具材を混ぜて焼く関西風、広島が具材を重ねて蒸し焼きにする広島風と、両府県の76%がそれぞれ回答しており、どちらもお好み焼きに愛着がにじんでいます。

大阪では40%の人が月に1度以上自宅で作って食べるのに対し、広島は31%で、持ち帰り文化が根付いています。広島風の方が完成に手間がかかると感じている人が多いようです。実際、同社が全国販売している

お好み焼きの調理キットも、広島風より関西風のほうがよく売れているそうです。

お好み焼きの切り方については、東京は「ピザ風に切る」が半数を超えているのに対し、大阪と広島は「四角く切る」が半数近かったそうです。食べる際に、シェアするか、一枚ずつ食べるか、箸かヘラを使うかに関係しているのではないかと同社は推測しています。

あと、お好み焼きを主食と考えている人が大半の中で、大阪では自宅で食べる際に「おかず」として食べる人が40%近くに上ったそうです。確かに、これを東京の方に話すると、とても驚かれます。

廃刊のお知らせ

平素はヨシナカ新聞をご愛読いただき誠にありがとうございます。

誠に勝手ではございますが、当新聞は今月号をもちまして廃刊とさせていただきます。

2005年4月創刊から18年9ヶ月続けることが出来ましたこと、支えてい

ただいた皆さまのお陰だと、感謝の気持ちでいっぱいです。心より御礼申し上げます。

それぞれの記事を読み返していきますと、記事によっては当時の出来事や心境まで思い出すことが出来、自分でも驚いています。東京スカイツリーの建設途上を記事に出来たこ

とはとても幸運だったと嬉しく思っています。他にもお役に立てる情報を少しはご提供できたのではないかと少し思いあがっています。

最後になりましたが、皆さまのご健康とご多幸を心からお祈りしております。これまで本当にありがとうございました。